

TOP MESSAGE



トップメッセージ

新たな価値創造によるWell-Being Lifeの実現

J.フロントリテイリング株式会社
取締役兼代表執行役社長

好本 達也

— CSVを突き詰める

地球温暖化や海洋汚染など地球環境の問題の深刻化、サプライチェーン上の人権問題、また新型コロナウイルス感染症の長期化や地政学的リスクの高まりなど、先行き不透明感が増す中、社会構造や消費行動が大きく変わろうとしています。今や環境や社会との共存なくして企業の発展はない、環境や社会、人権などの課題から目を背けて企業活動を行うことができないのは明らかです。

この認識の下、JFRグループでは、事業を通じて環境・社会課題の解決と企業の利益を両立させるサステナビリティ経営を推進しています。具体的には、サステナビリティと企業戦略・事業戦略の一体化を図る「CSV:Creating Shared Value(共通価値創造)」として実現していきます。

JFRグループは、大丸や松坂屋の創業以来、「先義後利」(義を先にして利を後にする者は栄える)「諸悪莫作、衆善奉行」(諸悪を犯すなかれ、善行を行え)という社是の精神を拠り所として、事業を行ってきました。この社是は、今の言葉に言い換えると「お客様第一主義」「社会への貢献

を意味しており、ステークホルダーの皆様のことを考え抜いて行動することが、ひいては事業の発展につながるという考え方を表しています。

私は、当社にとって、事業活動を通じて社会課題の解決を実現するCSVとは、すなわち、この長きにわたって基軸としてきた社是を愚直に実践することに他ならないと考えています。

当社グループは、2018年から、マテリアリティの特定やサステナビリティ方針の策定、環境・社会リスク低減への取り組みなど、いわゆるサステナビリティ経営の土台づくりを進めてきました。これからは、この土台の上に、事業を通じて社会と自社に新たな価値を生み出していく、当社ならではの新たな価値創造を実現していく段階にあると認識しています。そのためには、CSVを突き詰めていく必要があります。

2021年にスタートしたファッションサブスクリプション事業「AnotherADdress(アナザーアドレス)」は、百貨店の強みをいかした商品の魅力とともに、事業の背景にあるサステナブルな事業コンセプトに共感していただき、お客様からの支持を獲得することができています。このよう

→ **トップメッセージ** 価値創造プロセス

TOP MESSAGE

な新しい価値に基づいた事業をステークホルダーの皆様
に数多く提供することで、当社グループは持続的に成長
していくことができるものと考えています。

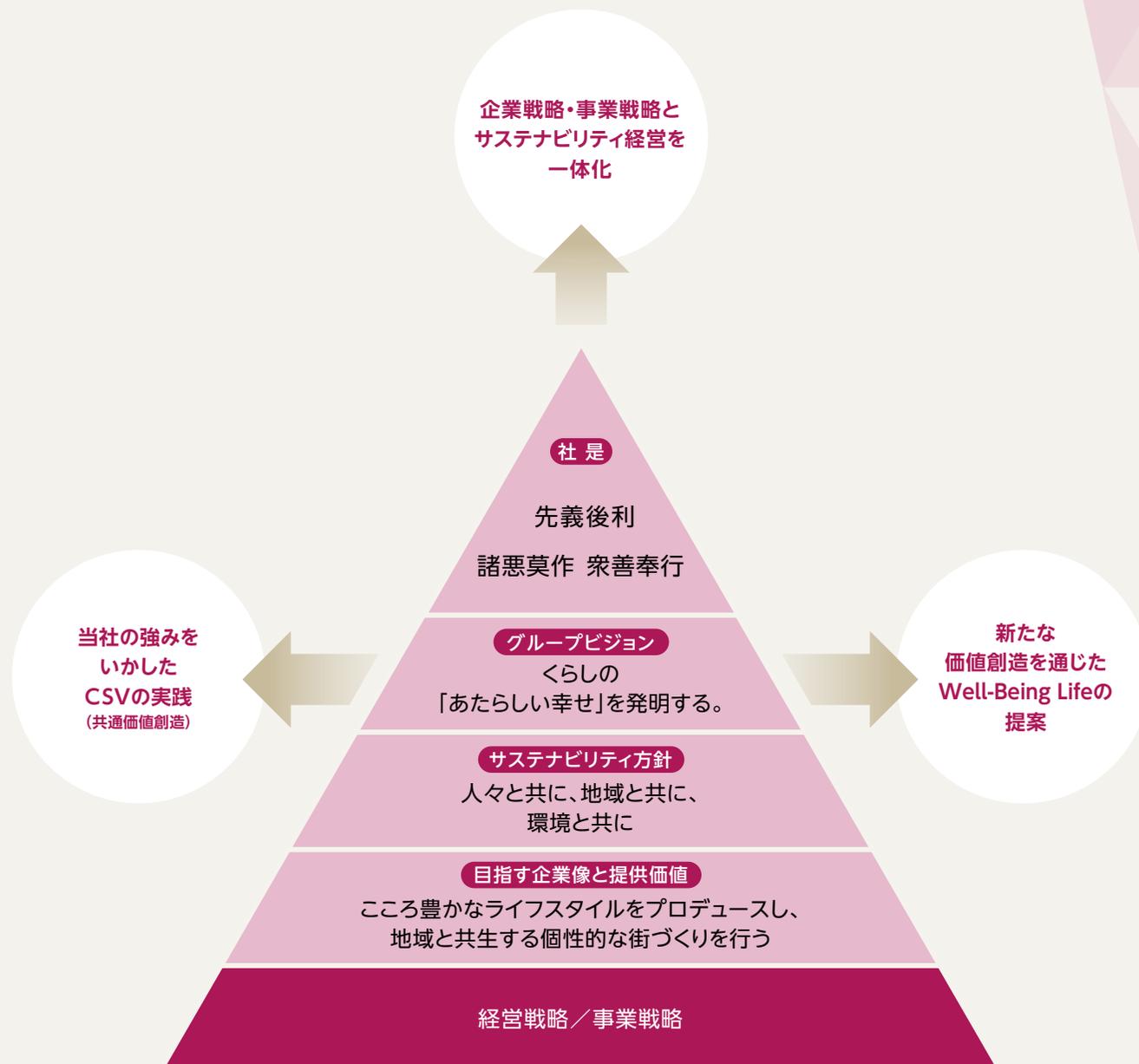
当社では、グループビジョンを実現する商品・サービス
に関するアイデアや新規事業プランを競う「JFR発明アワード」を2017年から毎年実施しています。回を重ねるごとに、
サステナビリティ視点での企画が多く選出されるようになってきており、社会やお客様のニーズの変化、従業員の意
識の変化を実感しています。こうしたCSVの種ともいうべき従業員の発案を、ビジネスの道筋がつくようしっかり支
援して、芽吹かせ、花を咲かせることが、私の役割だと思っ
ています。

さらに、新たな価値創造を目指して、2022年度から
JFR本社の組織体制も強化しています。次の成長の柱と
なりうる事業領域の検討・探索を行う事業ポートフォリオ
変革推進部を新設しました。この部門では、優先的に検
討する領域のひとつに「マテリアリティを解決する事業領域」
を設定しています。

— 人財が新しい価値を生み出す

不確実性の高い環境のもとで、現状延長にとどまらない
非連続な成長を実現し、未来を切り開くのは「人」の力です。
当社グループは、これまで以上に人財への投資を積極化し、
新たな価値創造につなげていきたいと考えています。

当社グループでは、2020年から、成果・貢献に直結す
る職務遂行能力と新たな価値を創出する力を「人財価値」



→ [トップメッセージ](#) [価値創造プロセス](#)

TOP MESSAGE

として捉え、それを中核に据えた「人財力主義」の人事制度を実施しています。「人財力」とは、成果発揮につながる行動や専門性の高い知識・スキル、その基盤となる職務遂行能力、変革推進に向けたエネルギーや学習行動、基盤となる性格・気質までの総合的な力です。

加えて、私が力を入れているのは、従業員との対話によるエンゲージメント強化です。キャッチボールミーティングと呼んでいますが、特にグループの次代を担う若い世代にチャンスをつかんでもらいたいとの思いから、私自身が彼らと直接話し、双方向でやりとりをする機会を増やしています。「自らやりたいことに手を挙げる人」を集め、経営層や社内外の様々な人と語り合いながら理解を深め、一体となってサステナビリティ経営の実現を目指す体制をつくっていきたくと考えています。

— ダイバーシティ&インクルージョンと価値創造

大きな変革期にある当社グループは、「変わりつつける」ことで、10年後100年後の生活にも現在進行形でステークホルダーの皆様や社会に寄り添っていきたくと考えています。そのためには、小売業の枠にとらわれない独創的なアイデア、すなわち発明が必ずなければならない。そのような想いからJFRのグループビジョン“くらしの「あたたかい幸せ」を発明する。”は生まれました。

私は、このビジョンの実現には、ダイバーシティ&インクルージョンが欠かせないと考えています。ビジョンに共感し、それを実現したいと思う多様な人々が、お互いに個性

や価値観、考え方を認め合い、論議を繰り返すことで、異分子が結合し、新たな発明、新たな価値を生み出していく。それこそがイノベーション創出につながり、当社グループを持続的に成長させる原動力になると考えているからです。

現在、当社グループでは、グループ内人財交流の促進、ジェンダー、世代などが混ざり合うグループ横断型のプロジェクト、外部からの専門人財の採用など、様々な取り組みを行っています。こうした刺激によって、多様な人々が対等に関わりあいながら個々の能力を発揮し活躍できる企業文化・組織風土を醸成していきます。

— Well-Being Life (心身ともに豊かなくらし)の実現

当社は、2021年度からスタートした中期経営計画において、事業活動を通じ、ステークホルダーの皆様の「Well-Being Life」を実現することを掲げました。当社が考えるWell-Being Lifeとは、従来の物質的、経済的豊かさに加え、精神的(知的、文化的)、身体的、社会的豊かさ、そしてこれらを取り巻く環境的豊かさを実現した「心身ともに豊かなくらし」を意味しています。

当社グループは、お客様、従業員、お取引先様、地域の方々など、さまざまな方々と触れ合う場を大切にしながら、グループビジョンをCSVとして具現化し、社会価値と経済価値を両立するサステナビリティ経営を貫くことで、皆様のWell-Being Lifeを実現するとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

グループビジョンのゴール

Well-Being
Life

心身ともに豊かなくらし

すべての人々の
精神的豊かさ、身体的豊かさ、
社会的豊かさ、環境的豊かさを
実現すること